

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L: I (メラピーク Kobe)、大石貴子

2. 山城/ルート 北アルプス 明神岳南西稜

3. 交通手段 阪急高速バス

## 4. 行動記録

日程：2015年12月28日(月)夜～2016年1月1日(金)

行動記録

28日(月)：22:10 梅田発松本行き夜行バス乗車

29日(火)：(晴れ) 5:30 松本バスターミナル着→8:35 高山線のバスで中の湯→10:10 釜トンネル出発→11:40 上高地で休憩→岳沢登山道 7 番標識前→15:50 約 2000m 地点で幕営→20:30 就寝

30日(水)：(晴れ) 3:30 起床→11:45 V 峰手前台地で休憩→12:30 出発→13:10 V 峰ピークに到着→13:30 荷物をデポして偵察→15:00 V 峰手前台地に戻り幕営→19:45 就寝

31日(木)：(曇りのち雪) 3:30 起床→6:45 出発→9:30 II 峰ピーク→10:30 明神岳主峰→11:00 II 峰への登り返し→12:00 II 峰ピーク→12:35 下山開始→14:25 幕営地→20:30 就寝

1月1日(金)：(雪のち晴れ) 3:30 起床→6:45 出発→10:00 トラロープ地帯脱出、休憩→11:00 岳沢登山道 7 番標識前、休憩→12:00 河童橋→上高地で休憩、12:38 出発→13:55 釜トンネル出口→14:55 松本行きバスに乗車→松本で一泊

2日(土)：7:10 松本から大阪行き高速バスに乗車→12:30 大阪着→帰神

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

条件が良ければ可能性があると考えられる明神南西稜、前穂高岳、奥穂高岳、涸沢岳西尾根を縦走する計画としていたが、同時期に入っているパーティーは無くトレースはあてに出来ないため岩稜帯のルートどりに時間を要すること、また予報で 1 日から風が強くなり 2 日から荒天になるとのことより、明神岳南西稜のピストンにした。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

## 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

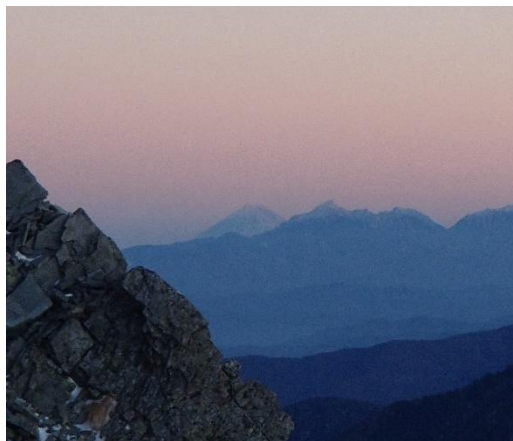
・同ルートは検索すると無雪期の記録はいくつか報告が出てくるが、積雪期の報告はほとんど無く、事前の情報収集に苦労した。

・今回、V 峰手前の台地まで登ってきた 3 人パーティーがいたが、そこまででピストンで下山された。その他は涸沢岳西尾根から縦走してきた強者パーティーと II 峰の下降時にすれ違ったが、その他パーティーは無く静か過ぎる山行を堪能した。

・樹林帯内の尾根上部にも岩稜帯が出てきてトラロープが張ってあったりするが、傾斜もあり、痩せ尾根でバランスを崩したら滑落の危険性大で緊張させられた。

・岩稜帯に中途半端についている雪でルートがわかりづらかった。忠実に稜線をたどる場合のルートは明瞭だが、ピークを撤く場合のルート取りに苦労した。

・Ⅰ－Ⅱ峰間コルからⅡ峰への登り返しは想像以上に厳しく、大変苦労した。懸垂時にロープをフィックスしていたので、そのロープにマイクロトラクションをかけ登り返しをしたが、縦クラックにバイルはかからず、アイゼンの刃も掛かりづらかった。フィックスしたトラロープで体を引き揚げ、その間にマイクロトラクションをずらしながら何とか登った。途中、握力、腕力が続かずこのまま壁に宙づりになるのでは思えた。



上左：Ⅴ峰からⅣ峰への稜線

上右：遠くかすかに富士山

下：Ⅲ峰手前から望む 奥にⅡ峰、主峰と続く

報告者氏名 大石貴子

2016年 1月 14日